

なら学概論

担当者：寺岡 伸悟（文学部・准教授） 協力者：鈴木 康史（文学部・准教授）
開講時期：後期 週時間：木曜5・6時限 履修者数：56名

授業概要・目的

奈良県がどのような地域であるかについて学びます。歴史的な事柄や自然、また中和・南和地域についても学ぶことによって、奈良県の文化・地域の特徴を知ります。さらに一つの地域を調べたり研究すること（＝地域学）の魅力や可能性について考えます。奈良県への自分なりの魅力・関心のポイントを発見すると同時に、自分の故郷との比較という視点も養います。

スケジュール

日程	内容
10月上旬	講義
10月中旬	ゲスト講師（編集者からみた奈良）
10月下旬～11月上旬	奈良「自分マップ」作成実習
11月中旬	奈良「自分マップ」報告
11月下旬	エクスカージョンと出先講義（春日大社と鹿苑）
12月上旬	講義
12月中旬	ゲスト講師（奈良の食文化）
1月	講義とゲスト講師（吉野を知ろう）
2月	個人レポート提出

取組内容

講義

街歩きと地図を見る方法、奈良・大和の歴史と文化、正倉院展とお土産 奈良県の工芸、都市奈良の歴史、吉野を知ろう、など。

ゲスト

* 地域文化誌『あかい奈良』編集長 倉橋みどり氏

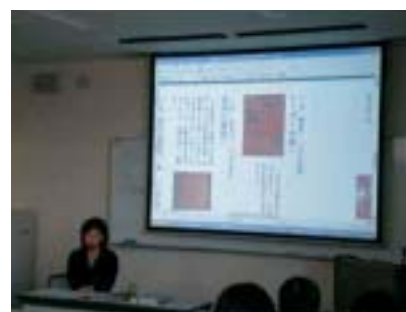
県外で生まれ育ったと倉橋編集長からの奈良論、地域文化誌の編集長としてみた奈良の魅力や取材・記事構成、また美しい『あかい奈良』の表紙をめぐるエピソードについてお話いただきました。

* 奈良の食文化研究会 林崎幸一氏

奈良県の様々な食文化を地区別に豊富なスライドを交えて紹介いただきました。

* 吉野を知るノ山村で働く 野迫川村 松原佳史氏

本学に入り奈良に住むようになって、意外に行く機会の少ない吉野地域。その山の恵あふれる暮らしや文化、野迫川村の魅力、自らのインターン経験を交えてわかりやすく紹介してくださいました。



『あかい奈良』と奈良



奈良の食文化を知る

エクスカーションとお話

* 春日大社と鹿苑（ご案内とお話：春日大社 岡本権宮司）

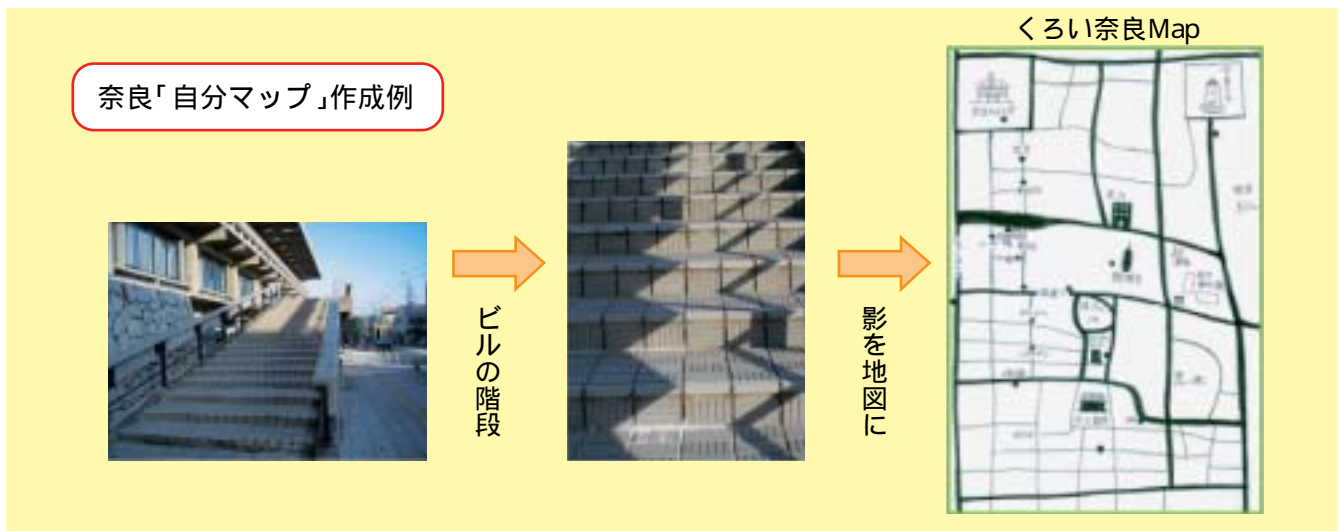
参道から鳥居、そして本殿へと、春日大社の岡本権宮司にお導きいただきつつ、建物や燈籠などの見方、いわれなどを学んでいくエクスカーション型講義です。また、道中、鹿苑により、奈良の鹿愛護会で奈良の鹿の現状や協会の活動について、レクチャーをいただき、施設の見学を行いました。

成果

奈良「自分マップ」作りとプレゼンテーション

10月下旬～11月上旬に、受講生が数人のグループに分かれて、あらかじめ指定した範囲（きたまちとならまちのそれぞれ一部）を対象に、街歩きし、奈良「自分マップ」を作成しました。11月中旬、授業内で成果報告会を行いました。

- ・奈良の街中の魅力的な影
- ・不思議な看板
- ・ならまち「身代わり猿」分布マップ
- ・奈良水産マップ
- ・商店街の舗装模様について



個人レポート

授業で紹介した奈良に関する視点から、自らの関心のあるものを1つ選び、それについて深めるか、あるいは自分の地元との比較をするという課題です。富山県出身者による売薬の比較、秋田県出身者による漬物比較、長野県出身者による気候比較、三重県出身者による「まち度」比較など、面白いレポートがたくさん提出されました。また、お祭りや伝統工芸など、各自のお気に入りについて調べてくれた学生も多数いました。

アルバイト体験

春日大社へのエクスカーションのあと、おんまつりのお手伝い、および新年の巫女奉仕体験のお誘いが学生にあり、数人の学生が参加しました。

今後に向けて

受講者それぞれが、自分なりの奈良の魅力を発見したり、奈良をとおして、自分の出身地の魅力を再確認したり、さらに地域を調べる視点を手に入れてくれた点はよかったです。今後は、授業のなかでの街歩き＝自分マップ作りをもう少し余裕をもってできるように工夫していきたいです。